



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社ソフトテックス

上場取引所

東・名

コード番号 550A

URL <https://www.softtex.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 石黒佳彦

問合せ先責任者（役職名） 常務取締役

（氏名） 中島拓穂

（TEL）052(731)7871

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	894	—	8	—	△8	—	△8	—
2026年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△9.17	—
2026年3月期第1四半期	—	—

- 2026年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2026年3月期第1四半期の数値及び2027年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
- 2027年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失を計上しているため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	2,163	1,571	72.6
2026年3月期	1,991	1,379	69.3

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 1,571百万円 2026年3月期 1,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	40.00	—	35.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2027年3月期第2四半期配当金の内訳 記念配当 5円00銭 普通配当 35円00銭

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	1,858	6.9	71	△24.9	62	△34.8	36	△43.0	39.95
通期	3,950	8.5	325	9.5	322	9.0	210	△1.4	232.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	912,200株	2026年3月期	876,000株
2027年3月期1Q	一株	2026年3月期	106,100株
2027年3月期1Q	892,131株	2026年3月期1Q	769,900株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当社は、2026年3月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられるほか、設備投資も底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調を維持しました。日銀短観（2026年6月調査）では、AI・半導体需要を背景に大企業・製造業の業況判断DIは22（前回比＋5ポイント）と約8年ぶりの高水準となり、5四半期連続で改善しました。非製造業・中小企業も業種差を伴いつつも総じて底堅い推移を維持しています。一方、先行きについては中東情勢に伴うコスト上昇や海外景気減速への懸念から、慎重な見通しとなっています。

また、人手不足の深刻化や物価・人件費の上昇、自然災害や地政学的リスクなど、事業環境の不確実性は依然として高い状況が続いております。今後は、賃上げを背景とした個人消費の回復や企業の設備投資の拡大が期待される一方、海外経済の動向や物価上昇が国内経済へ与える影響について、引き続き注視が必要な状況となっております。

このような環境の中、ソフトウェア開発サービスでは、モダナイズソリューションを中心とした大型請負プロジェクトが堅調に推移したほか、クラウドソリューション及び医療ITサービスにおいても概ね計画どおりに推移いたしました。

一方、防災ソリューションでは、前期に受注した大型案件の終了に伴い当第1四半期の売上高が減少するとともに、有償稼働率も低下いたしました。また、首都圏業務ソリューションにおいても売上高が計画を下回ったことから、ソフトウェア開発サービス全体の売上高は計画を下回る結果となりました。

利益面では、売上高の減少に伴う減益に加え、モビリティソリューションにおいてのヘルプデスク業務終了後の代替となる大型請負案件の採算性が計画を下回ったこと、さらに医療ITサービスにおいて売上債権の回収懸念に伴う貸倒引当金繰入額を計上したことが利益を押し下げました。また、第1四半期は新規上場に伴う費用として営業外費用を計上する計画であったことから、経常損失及び四半期純損失を見込んでおりましたが、これらの利益減少要因により、計画を上回る経常損失及び四半期純損失を計上いたしました。

この結果、当社の当第1四半期累計期間の業績は、ソフトウェア開発サービスの売上高は657,503千円、医療ITサービスの売上高は236,677千円となり、全体としては売上高894,180千円となりました。営業利益は8,270千円、経常損失は8,592千円、四半期純損失は8,179千円となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間の末日における総資産は2,163,715千円、前事業年度末と比較して172,095千円の増加となりました。総資産の内訳は、流動資産1,960,308千円、固定資産203,406千円であり、その主な増加理由は、売掛金及び契約資産189,773千円の減少はあったものの、現金及び預金357,502千円、原材料及び貯蔵品6,386千円の増加によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間の末日における負債は592,039千円、前事業年度末と比較して19,808千円の減少となりました。負債の内訳は、流動負債438,300千円、固定負債153,738千円であり、その主な減少理由は、預り金49,689千円、未払金18,100千円、未払消費税等12,595千円の増加はあったものの、賞与引当金77,766千円、未払法人税等19,824千円の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間の末日における純資産は1,571,676千円、前事業年度末と比較して191,904千円の増加となりました。その主な増加理由は、資本剰余金155,445千円、自己株式処分に伴う66,226千円の増加によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前事業年度末の69.3%から72.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年5月15日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	912,031	1,269,534
売掛金及び契約資産	817,652	627,879
仕掛品	17,130	16,652
原材料及び貯蔵品	6,387	12,773
その他	33,225	36,334
貸倒引当金	△1,182	△2,864
流動資産合計	1,785,245	1,960,308
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	42,222	41,231
工具、器具及び備品（純額）	27,996	27,667
有形固定資産合計	70,219	68,898
無形固定資産		
商標権	360	351
ソフトウェア	20,758	19,139
その他	338	338
無形固定資産合計	21,456	19,828
投資その他の資産		
従業員に対する長期貸付金	660	570
長期前払費用	2,076	1,857
繰延税金資産	77,935	78,684
その他	34,026	33,566
投資その他の資産合計	114,698	114,678
固定資産合計	206,375	203,406
資産合計	1,991,620	2,163,715

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,010	76,637
未払金	68,102	86,202
未払費用	29,324	22,862
未払法人税等	25,077	5,252
未払消費税等	45,253	57,849
契約負債	16,448	20,472
預り金	11,607	61,297
賞与引当金	174,104	96,337
製品保証引当金	11,599	11,387
流動負債合計	460,528	438,300
固定負債		
役員退職慰労引当金	134,377	138,066
資産除去債務	10,600	10,600
その他	6,342	5,072
固定負債合計	151,319	153,738
負債合計	611,848	592,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	160,000	192,304
資本剰余金	3,150	158,595
利益剰余金	1,282,848	1,220,775
自己株式	△66,226	—
株主資本合計	1,379,771	1,571,676
純資産合計	1,379,771	1,571,676
負債純資産合計	1,991,620	2,163,715

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	894,180
売上原価	687,680
売上総利益	206,499
販売費及び一般管理費	198,228
営業利益	8,270
営業外収益	
受取利息	3
その他	70
営業外収益合計	73
営業外費用	
上場関連費用	14,514
株式交付費	2,421
営業外費用合計	16,936
経常損失(△)	△8,592
税引前四半期純損失(△)	△8,592
法人税、住民税及び事業税	337
法人税等調整額	△749
法人税等合計	△412
四半期純損失(△)	△8,179

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社はシステム開発関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年4月9日の株式上場に伴う公募による自己株式の処分及び2026年4月28日を支払期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式36,200株（割当価格1,784.8円、資本組入額892.4円）を発行しました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ32,304千円増加しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	5,277千円